

日本歯科医学会 概要

日本歯科医学会は、歯科医学に係る様々な専門領域を所轄する各学会（分科会）で構成される学術研究組織であり、43 の分科会（21 の専門分科会及び 22 の認定分科会）を擁する。現在の会員数は、日本歯科医師会会員 65, 198 名、専門・認定分科会会員 35, 512 名の合計 100, 710 名である。（平成 27 年 9 月末日現在）

目 的

本学会は、歯科医学を振興することによって歯科医療を向上し、国民及び人類の福祉に貢献することをもって目的とする。

活 動

本学会は、上記の目的を達成するため、次の活動を行っている。

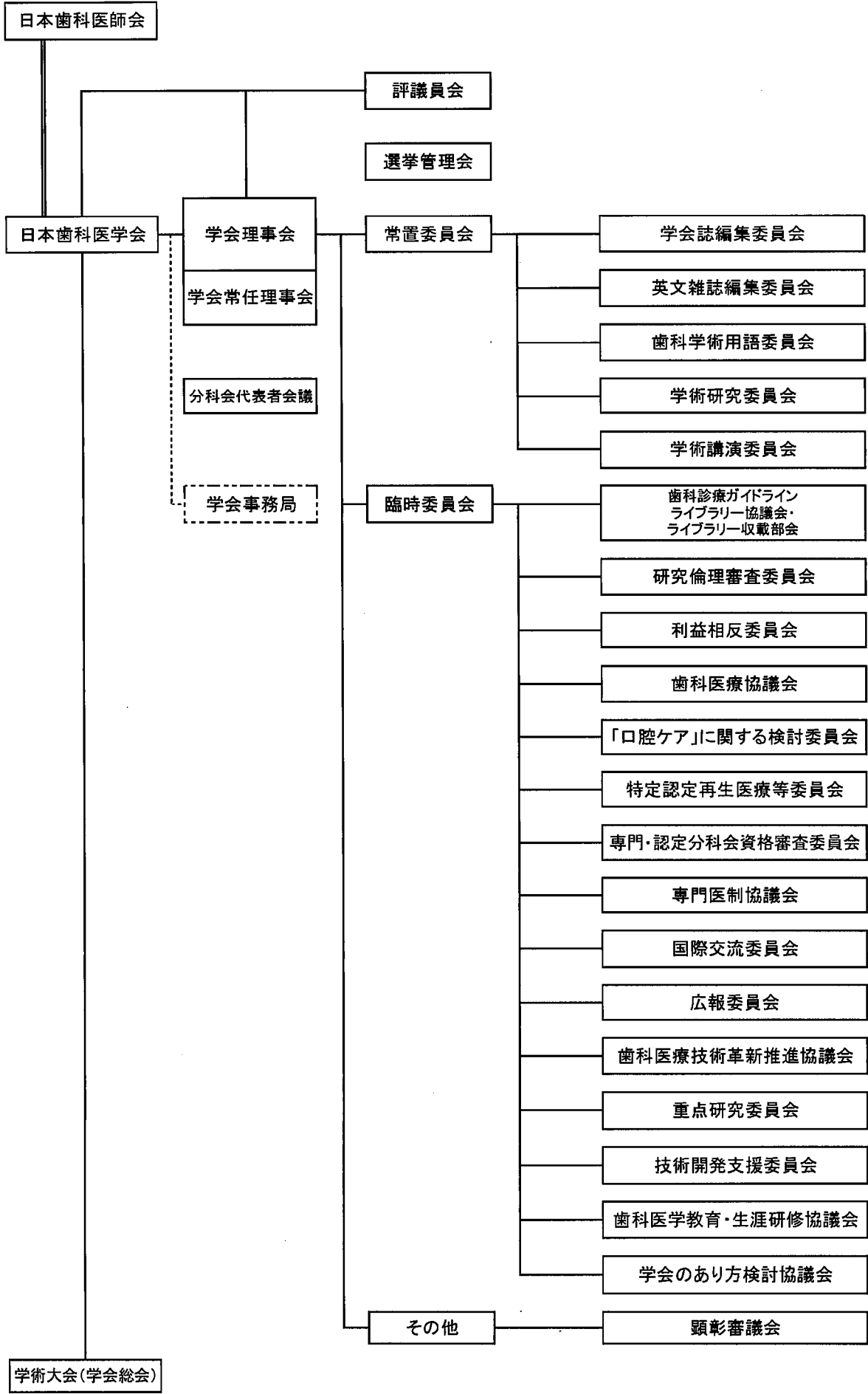
1. 歯科医学に関する科学および技術の進歩発達に関する事柄
2. 学術大会開催に関する事柄
3. 専門分科会および認定分科会への助成
4. 専門分科会および認定分科会間の緊密な連携
5. 日本歯科医師会会長の諮問に対する答申または建議
6. その他学会の目的を達成するに必要な事柄

上記活動に必要な調査研究活動（学術研究事業、歯科学術用語の検討等）や歯科医学に係る学術講演会等を行っている。また、機関誌として日本歯科医学会誌（オンラインジャーナル）を刊行するとともに、歯科医学の現状を総説し、本邦から世界に発信するため英文雑誌として「The Japanese Dental Science Review」（オンラインジャーナル）を刊行している。

日本歯科医学会総会（学術大会）は、昭和 28 年から昭和 38 年までは隔年で開催されてきたが、昭和 44 年からは原則 4 年毎に開催している。

日本歯科医学会組織図

平成27年7月1日～平成29年6月30日



日本歯科医学会専門・認定分科会一覧

平成27年12月18日現在

【専門分科会】

歯科基礎医学会
日本歯科保存学会
日本補綴歯科学会
日本口腔外科学会
日本矯正歯科学会
日本口腔衛生学会
日本歯科理工学会
日本歯科放射線学会
日本小児歯科学会
日本歯周病学会
日本歯科麻酔学会
日本歯科医史学会
日本歯科医療管理学会
日本歯科薬物療法学会
日本障害者歯科学会
日本老年歯科医学会
日本歯科医学教育学会
日本口腔インプラント学会
日本顎関節学会
日本臨床口腔病理学会
日本接着歯学会

【認定分科会】

日本レーザー歯学会
日本口腔感染症学会
日本有病者歯科医療学会
日本歯科心身医学会
日本臨床歯周病学会
日本歯内療法学会
日本歯科審美学会
日本顎口腔機能学会
日本歯科東洋医学会
日本顎変形症学会
日本スポーツ歯科医学会
日本顎顔面補綴学会
日本顎咬合学会
日本磁気歯科学会
日本小児口腔外科学会
日本顎顔面インプラント学会
日本外傷歯学会
日本口腔診断学会
日本口腔腫瘍学会
日本口腔リハビリテーション学会
日本口腔顔面痛学会
日本口腔検査学会

歯科医学会における各種研修制度について

平成27年12月18日

●公益社団法人日本口腔外科学会

【教育研修会】

◎研修テーマ

- 2014年度 口腔外科の周術期管理を考える
- 2013年度 顎口腔の再建と再生
- 2012年度 口腔癌の診断と治療— 基礎から最新の治療まで—

◎研修頻度

年2回

◎研修の延べ回数

44回

◎研修参加者数

| | | | |
|--------|------|-------------------|------|
| 2014年度 | 第43回 | 2015. 2. 28～3. 1 | 258名 |
| | 第44回 | 2015. 7. 25～7. 26 | 179名 |
| 2013年度 | 第41回 | 2014. 2. 22～2. 23 | 237名 |
| | 第42回 | 2014. 7. 26～7. 27 | 157名 |
| 2012年度 | 第39回 | 2013. 2. 9～2. 10 | 278名 |
| | 第40回 | 2013. 7. 27～7. 28 | 234名 |

◎研修形式

講演

◎研修終了後の証明証発行

毎回発行

【歯科臨床医リフレッシュセミナー】

◎研修頻度

年7回（各年とも）

◎研修の延べ回数

94回

◎研修参加者数、研修テーマ

○2014年度

・第88回歯科臨床医リフレッシュセミナー

2014年12月6日 鶴見大学記念館記念ホール

参加者168名

テーマ「採決・注射に伴う手のしびれ・痛み～トラブル回避のABC～」

- ・第89回歯科臨床医リフレッシュセミナー
2015年4月18日 香川県歯科医療専門学校 8020 ホール
参加者112名
テーマ「動画でみる嚙下障害診療の実際」
- ・第90回歯科臨床医リフレッシュセミナー
2015年5月23日 鶴見大学会館メインホール
参加者184名
テーマ「歯科診療関連死の実態と新たに施行される調査制度について」
- ・第91回歯科臨床医リフレッシュセミナー
2015年6月13日 岡崎市民病院
参加者192名
テーマ「臨床研究の立案に必要な医学統計」
- ・第92回歯科臨床医リフレッシュセミナー
2015年6月13日 兵庫医科大学3-3 講義室
参加者223名
テーマ「薬剤誘発性顎骨壊死の最新情報」
- ・第93回歯科臨床医リフレッシュセミナー
2015年6月27日 長崎ブリックホール国際会議場
参加者183名
テーマ「口腔感染症の治療 ー基礎から治療の実際までー」
- ・第94回歯科臨床医リフレッシュセミナー
2015年6月28日 札幌プリンスホテル国際館パミール
参加者172名
テーマ「頭頸部画像診断」

○2013年度

- ・第81回歯科臨床医リフレッシュセミナー
2013年12月7日 東京女子医科大学弥生記念講堂
参加者162名
テーマ「わが国の医療経済とがん化学療法」
- ・第82回歯科臨床医リフレッシュセミナー
2014年4月26日 徳島大学長井記念ホール
参加者84名
テーマ「歯科領域における安全管理ー感染対策とリスクマネージメントー」
- ・第83回歯科臨床医リフレッシュセミナー
2014年5月17日 松本市ホテルブエナビスタ
参加者165名
テーマ「口腔がんの終末医療（在宅医療）について」
- ・第84回歯科臨床医リフレッシュセミナー

2014年6月7日 自治医科大学地域医療情報研修センター大講堂

参加者155名

テーマ「睡眠医学の進歩 ―睡眠障害が及ぼすさまざまな影響―」

- ・第85回歯科臨床医リフレッシュセミナー

2014年6月7日 ホルトホール大分

参加者180名

テーマ「口腔がん早期発見のための基礎知識：

口腔前がん病変の病態を理解し、口腔細胞診を活用する」

- ・第86回歯科臨床医リフレッシュセミナー

2014年6月21日 奈良県橿原文化会館

参加者185名

テーマ「口腔外科医が遭遇しやすい皮膚疾患」

- ・第87回歯科臨床医リフレッシュセミナー

2014年6月22日 秋田市にぎわい交流AU

参加者93名

テーマ「口腔病理診断のピットフォールと

診断クルー細胞診と組織診における“臨床と病理”」

○2012年度

- ・第74回歯科臨床医リフレッシュセミナー

2012年12月8日 日本大学医学部第2臨床講堂

参加者163名

テーマ「口腔・顔面痛の診断と治療」

- ・第75回歯科臨床医リフレッシュセミナー

2013年4月26日 隠岐島文化会館

参加者75名

テーマ「若い口腔外科医のための口腔がん診断から治療まで」

- ・第76回歯科臨床医リフレッシュセミナー

2013年6月1日 千葉大学けやき会館

参加者183名

テーマ「ここが違う重粒子線治療～頭頸部がんを中心に～」

- ・第77回歯科臨床医リフレッシュセミナー

2013年6月8日 福岡県歯科医師会館

参加者150名

テーマ「医療倫理と医事紛争」

- ・第78回歯科臨床医リフレッシュセミナー

2013年6月15日 名古屋国際会議場

参加者172名

テーマ「病院におけるがん患者の周術期口腔機能管理を

地域医療連携で運用するための考え方」

- ・第79回歯科臨床医リフレッシュセミナー
2013年6月29日 盛岡アイーナ（いわて県民情報交流センター）
参加者112名
テーマ「非腫瘍性の唾液腺病変の考え方」
- ・第80回歯科臨床医リフレッシュセミナー
2013年6月29日 神戸大学医学部附属病院シスメックスホール
参加者208名
テーマ「知って得する口腔がんの放射線治療
—化学放射線療法、IMRT、粒子線治療、緩和照射—」

◎研修形式

講演

◎研修終了後の証明証発行

毎回発行

【総会・学術集会】

- ・第59回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会
期日：2014年10月17日（金）～19日（日）
会場：幕張メッセ国際会議場（千葉市美浜区）
演題数：824題、参加者3,591名
テーマ：クオ・ヴァディス口腔外科
- ・第58回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会
期日：2013年10月11日（金）～13日（日）
会場：福岡国際会議場（福岡市博多区）
演題数：969題、参加者3,396名
テーマ：「日本の口腔外科学のグローバル化をめざして」
- ・第57回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会
期日：2012年10月19日（金）～21日（日）
会場：パシフィコ横浜 会議センター（横浜市西区）
演題数：887題、参加者3,445名
テーマ：「サイエンスとアートの継承と発展」

【支部学術集会】

○2014年度

北日本支部 第41回

2015年6月27・28日 札幌 札幌プリンスホテル

参加者219名

関東支部 第198回

2014年12月6日 鶴見大学記念館記念ホール

参加者362名

関東支部 第199回

2015年5月23日 鶴見大学会館

参加者340名

中部支部会 第40回

2015年6月13日 愛知 岡崎市民病院

参加者377名

近畿支部会 第46回

2015年6月13日 兵庫医科大学

参加者373名

中国四国支部会 第44回

2015年4月18日 香川県歯科医療専門学校講堂

参加者112名

九州支部会 第83回

2015年6月27日 長崎ブリックホール 国際会議場

参加者307名

○2013年度

北日本支部会 第40回

2014年6月21・22日 秋田にぎわい交流館AU

参加者177名

関東支部会 第196回

2013年12月7日 東京女子医科大学弥生記念講堂

参加者366名

関東支部会 第197回

2014年6月7日 自治医科大学記念棟

参加者255名

中部支部会 第39回

2014年5月17日 松本ホテルブエナビスタ

参加者306名

近畿支部会 第45回

2014年6月21日 奈良・橿原文化会館小ホール

参加者310名

中国四国支部会 第43回

2014年4月25・26日 ホテルグランドパレス徳島、

徳島大学長井記念ホール

参加者112名

九州支部会 第82回

2014年6月7日 ホルトホール大分・大ホール

参加者327名

○2012年度

北日本支部会 第39回

2013年6月28・29日 盛岡アイーナ (いわて県民情報交流センター)

参加者144名

関東支部会 第194回

2012年12月8日 日本大学医学部第2臨床講堂

参加者329名

関東支部会 第195回

2013年6月1日 千葉大学けやき会館

参加者398名

中部支部会 第38回

2013年6月15日 名古屋国際会議場

参加者296名

近畿支部会 第44回

2013年6月29日 神戸大学医学部附属病院 シスメックスホール

参加者271名

中国四国支部会 第42回

2013年4月27日 隠岐島文化会館

参加者85名

九州支部会 第81回

2013年6月8日 福岡県歯科医師会館

参加者316名

専門医制度における申請資格の一例

| | | 専門医制度委員会 | | | | |
|------|---------|---|--|---|---|---|
| | | 認定医・専門医資格認定審査会 | | 指導医 | 研修施設資格認定審査会 | |
| | | 認定医 | 専門医 | | 研修施設 | 准研修施設 |
| 申請資格 | 研修等期間条件 | <ul style="list-style-type: none"> ○2年以上継続会員 ○研修施設・准研修施設等で通算2年以上の研修 ○准研修施設、専門医が常勤する研修施設での期間は、4分の3換算 ○研修期間は、入会後で臨床研修修了後から起算。(2006年より前に歯科医籍登録した方は、入会後で歯科医籍登録後から起算) | <ul style="list-style-type: none"> ○6年以上継続会員 ○認定医資格(2006年より前に歯科医籍登録者は不要) ○研修施設・准研修施設での通算6年以上の研修 ○准研修施設での期間は、4分の3換算 ○研修期間は、入会後で臨床研修修了後から起算。全身管理研修、救命救急研修については、この限りではない。(2006年より前の歯科医籍登録者は、入会後で歯科医籍登録後から起算) | <ul style="list-style-type: none"> ○12年以上継続会員 ○研修施設・准研修施設で通算12年以上口腔外科診療に従事(在籍) ○専門医取得後3年以上口腔外科診療に従事 ○准研修施設での期間は、4分の3換算 ○研修期間は、入会後で臨床研修修了後から起算。(2006年より前に歯科医籍登録した方は、入会後で歯科医籍登録後から起算) | <ul style="list-style-type: none"> ○口腔外科疾患全般の対象施設 ○指導医1名以上常勤(十分な指導体制) ○口腔外科疾患全般の研修が可能 ○教育行事の恒常的開催 | <ul style="list-style-type: none"> ○口腔外科疾患の対象施設 ○専門医が常勤又は指導医が定期的に診療に従事 ○研修施設との連携による口腔外科疾患の研修が可能 ○教育行事の恒常的開催 |
| | 研修実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○本学会学術大会又は支部学術集會に参加 ○前項に関連学会を加えたもので筆頭者として発表 ○本学会教育研修会あるいはリフレッシュセミナー参加 ○日本ACLS協会、日本救急医学会、各医療機関実施の救命救急研修会受講(BLS, ACLS, ICLS他) | <ul style="list-style-type: none"> ○本学会学術大会及び支部学術集會に参加。また、認定医資格取得後いずれかで筆頭者として発表 ○前項に関連学会を加えたものへの参加・発表で75単位以上の実績 ○本学会教育研修会及びリフレッシュセミナー参加 ○全身管理研修20例で代表5症例を詳細 ○救命救急研修会: 日本ACLS協会ACLSコース又は、日本救急医学会認定ICLSコース(BLSは2018年申請まで申請可) | <ul style="list-style-type: none"> <申請前3年間のもの> ○本学会学術大会・支部学術集會又は関連学会に参加・発表し、75単位以上の実績 ○本学会教育研修会及びリフレッシュセミナー参加 | | |
| | 診療実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○診断症例: 炎症・嚢胞・腫瘍・外傷・顎関節の各1例を含む10例 ○周術期管理・全身疾患外来手術: 5例 ○入院手術: 5例 ○手術管理・執刀: 30例(分野A10以上、B10以上、C、Dから5以上、うち代表例A2、B2、C及びD1の計5例を詳細提出 ○経験手術: レベル2以上で、A、B、Dのように3分野を選択し、5×3分野=15例、各1例を含む代表5例を詳細提出 | <ul style="list-style-type: none"> ○口腔外科手術: 100症例(40症例以上がレベル2以上、A-1分野10以下、A-2~B-4分野25以上、C-1~D3分野25例以上)、うちレベル2以上で、分野A~D各1例を含む代表20例を詳細提出 ○入院症例の管理報告: 50症例(A分野10以上、A-1は5以下、B分野20以上、C・D10以上)、うち分野A~Dから各1症例を含む代表20症例を詳細提出 ○口腔外科症例の管理・診断: 細則第20条第1項第3号の分野E、F各5例以上で10例以上(E1~3、F-1~2から各1例を含む) | <ul style="list-style-type: none"> <専門医取得後のもの> ○口腔外科手術: レベル2以上の手術60症例で、代表15症例を詳細提出 E-1 疼痛 E-2 摂食・嚥下・味覚 E-3 粘膜疾患・全身疾患による口腔病変 F-1 気道管理 F-2 栄養管理 | <ul style="list-style-type: none"> <最近1年間の実績> ○全身麻酔下あるいは静脈内鎮静法による口腔外科手術: 50症例以上(うち静脈内鎮静法は20例まで) ○口腔外科疾患入院症例: 80症例以上 <最近3年間の実績> ○全身麻酔下あるいは静脈内鎮静法による口腔外科手術症例 | <ul style="list-style-type: none"> <最近1年間の実績> ○全身麻酔下あるいは静脈内鎮静法による口腔外科手術: 20症例以上(うち静脈内鎮静法は10例まで) ○口腔外科疾患入院症例: 30症例以上 <最近3年間の実績> ○全身麻酔下あるいは静脈内鎮静法による口腔外科手術症例 |
| | 論文実績 | なし | <ul style="list-style-type: none"> 別表4の雑誌に掲載の学術論文3編(日本口腔外科学会雑誌掲載論文1編を含む)、うち1編は筆頭で、口腔外科学会雑誌、Journal of Oral And Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology (略称 J.O.M.S.M.P) 又は International Journal of Oral and Maxillofacial Surgery (略称 I.J.O.M.S)に掲載 | <ul style="list-style-type: none"> <申請前10年間のもの> ○口腔外科学に関する学術論文10編以上 ○10編のうち3編以上は日本口腔外科学会雑誌又は J.O.M.S.M.P 又は I.J.O.M.Sに掲載された論文。 ○10編のうち3編は筆頭論文(日本口腔外科学会雑誌又は J.O.M.S.M.P 又は I.J.O.M.S掲載論文1編を含む)。 ○編数換算: 日本口腔外科学会雑誌、J.O.M.S.M.P、I.J.O.M.S掲載された筆頭論文は、総数及び筆頭論文数でそれぞれ2編に換算 | | |
| 方認定 | 試験 | <ul style="list-style-type: none"> ○書類審査 ○筆記試験(各地区で行う) ○手術実地審査 | <ul style="list-style-type: none"> ○書類審査 ○筆記試験(記述式)・口頭試問 ○手術実地審査 | <ul style="list-style-type: none"> ○書類審査 ○面接・手術実地審査 | <ul style="list-style-type: none"> ○書類審査 ○実地調査 | <ul style="list-style-type: none"> ○書類審査 ○実地調査 |
| 更新申請 | 更新要件 | <ul style="list-style-type: none"> ○本学会学術大会又は支部学術集會に参加あるいは発表 別表2に定める単位60単位以上の実績 ○学会参加・発表、論文発表で100単位以上 ○本学会教育研修会など(別表2)に参加で20単位以上 | <ul style="list-style-type: none"> ○学会参加・発表、論文発表で100単位以上 ○本学会教育研修会など(別表2)に参加で20単位以上 ○学会発表、論文発表、手術実地等を記載した、指導実績報告書 ※60歳超は「終身」 | <ul style="list-style-type: none"> ○学会参加・発表、論文発表で100単位以上 ○本学会教育研修会など(別表2)に参加で20単位以上 | <ul style="list-style-type: none"> ○認定資格と同等の診療実績 ○学会発表5演題以上(本学会学術大会、国際口腔顎顔面外科学会及びその関連学会の演題は2編換算) ○3編以上の学術論文発表(日本口腔外科学会雑誌、Journal of Oral And Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology 又は International Journal of Oral and Maxillofacial Surgery掲載論文は2編換算) | <ul style="list-style-type: none"> ○認定資格と同等の診療実績 ○学会発表3演題以上(本学会学術大会、国際口腔顎顔面外科学会及びその関連学会の演題は2編換算) ○2編以上の学術論文発表(日本口腔外科学会雑誌、Journal of Oral And Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology 又は International Journal of Oral and Maxillofacial Surgery掲載論文は2編換算) |

●一般社団法人日本小児歯科学会

【専門医・認定医合同セミナー】

◎研修テーマ

平成27年度 <小児の口腔機能>

- ・小児の口腔機能の発達とその支援 ～乳児期から幼児期前半まで～
- ・小児の口腔機能の発達とその支援 ～幼児期後半から学齢期まで～

平成26年度 <乳幼児の口と歯の健診ガイド>

- ・乳幼児の口と歯の健診ガイド ―学会編ができた経緯と解説―
- ・暖かい視線で、社会が求める乳幼児健診に取り組みましょう！

―「食」を介した歯科からの育児支援も考えてみませんか―

平成25年度

- ・児童虐待―現場からの提言―
- ・口腔は生活をあらわす―学校歯科健診の現状と課題―
- ・川崎市立西丸子小学校での学校歯科医活動と川崎市歯科医師会児童虐待防止の取組み

◎研修頻度

年2回

◎研修の延べ回数

22回

◎研修参加者数

平成27年度 約330名

平成26年度 約220名

平成25年度 約400名

◎研修内容

90分講演×2回

◎研修終了後の証明証発行

参加者本人が持参した会員カードで出席を記録。また希望者に修了証書を発行。

【専門医セミナー】

◎研修テーマ

平成27年度 <口腔の育成>

- ・埋伏歯の臨床―治療のタイミングを考える
- ・ダウン症児への摂食・嚥下機能発達療法について

平成27年度 <小児期における咬合誘導>

- ・最近の矯正歯科治療の発展と問題点から、小児矯正・咬合誘導治療の今後を展望する。
- ・小児歯科医に必要な咬合誘導の為の診断および治療基準

平成27年度 <小児歯科医として知っておくべき全身疾患に関する基礎知識>

- ・小児疾患の多様性

- ・小児歯科臨床における感染性心内膜炎に関する基礎知識

平成26年度

- ・現代の子どもたち、親たち、子育て
- ・お腹の中から関わる口腔機能発達支援
- ・小児の頭痛診療の実際
- ・上顎永久切歯萌出時のトラブル予防を考える

—小児歯科診療における歯科用コーンビームCTの活用—

- ・ワクチンで予防できる小児の疾患を考える
- ・子ども虐待の根絶を目指して—歯科界の新たな役割—

平成25年度

- ・上顎犬歯の萌出異常に対する矯正歯科治療
- ・日常の小児歯科臨床で埋伏歯を発見したら？
～子ども達が健全な口腔機能を発揮できるよう小児歯科医は何をすべきか～
- ・歯科からの食育-成長発育に応じた口の健康を食から考える-
- ・口腔機能と形態から考える小児期の咬合治療
- ・みんなで学ぼう！子どものアレルギー
- ・脳機能からみた小児歯科臨床の意義

◎研修頻度

年3回

◎研修の延べ回数

14回

◎研修参加者数

平成27年度 約300名

平成26年度 約550名

平成25年度 約370名

◎研修内容

90分講演×2回

◎研修終了後の証明証発行

参加者本人が持参した会員カードで出席を記録。また希望者に修了証書を発行。

【総会、学術集会】

テーマ：こどもたちが輝く明日のために小児歯科医療の果たすべき使命
小児血液・腫瘍疾患の包括医療-小児がん拠点病院として-
小児歯科学会での男女共同参画の推進

～私たち女性小児歯科医が歩んでいる道～
大学における結婚・出産を含めたキャリアパス～ロールモデルを探して～
私たちを含めた女性歯科医師の置かれている現況

20年後の小児歯科はどのようなになっているのか？
 小児歯科の将来像と大学人の役割
 小児歯科研究と専門性の未来
 口腔内環境を低齶蝕状態に維持可能なS-PRG フィラーの新たな提案
 歯の萌出時期と嚢胞形成に関わるインテグリンbeta1 の分子機構について
 Streptococcus mutansにおけるグルタミン代謝関連遺伝子の同定と機能解析
 PRG バリアコートによるStreptococcusmutans のバイオフィルム形成阻害
 PRG セメントに対するヒト乳歯歯髄由来細胞の生物学的応答
 フッ化物の応用を小児歯科の視点から考える
 -フッ化物応用に関するアンケート調査から-
 歯科衛生士の現在、未来一人びとのニーズに応えるために-
 小児期の上気道通気障害がもたらす顎顔面歯列咬合形態への影響と
 小児歯科からの睡眠医療への貢献
 新規医療技術等の保険導入と今後の歯科医療の方向性について
 ネット・スマホ時代の子育て～小児科医と考えるメディアリテラシー～
 放射線の健康影響と小児
 歯科に求められる児童虐待への対応と予防 小児歯科の新たな視点
 -児童虐待研究-

児童虐待対策における歯科医師の役割
 児童虐待防止に係る取組み
 新規歯科診断用口腔内カメラを用いた各シーラントの観察
 加温したAPF 塗布によるヒト歯面からのフッ素のリリース動態
 口唇口蓋裂児における吸啜機能の発達
 口唇形成術施術前後および3か月後の筋協調パターン
 乳歯反対咬合治療に関する研究 チンキャップを用いた場合の効果について
 進行性歯根吸収と骨吸収部の病理所見が得られた脱落再植歯の一例
 全身麻酔下でCT検査を行い埋伏過剰歯を抜去した障害児の一例
 口腔の外傷-臨床のトピックス

開催頻度：年1回

出席者数：1, 562名

修了証発行：なし

(但し、参加者本人が持参する本学会発行のIDカードで参加を記録)

【支部学術集会】

<北日本、関東、中部、近畿、中四国、九州の6地方で開催>

テーマ：社会的ひきこもり者に対する歯科保健医療について
 言語聴覚士から診た摂食、嚥下そして発音について
 小児期における咬合誘導

歯科治療が難しい子どもへの接し方
子どもの脳と食育
歯はこころの窓ー歯科診療の視座を変えるー
子ども成長発育と健康
“みる”からはじまる子どもの歯科医療
ー地域のなかで私たちができることー
口の発達を支援するー子どもと口の未来のためにー
学校（園）歯科保健診断の盲点を考える
ー学校（園）歯科医と小児歯科医の共通認識を求めてー
発達障害の子どもを持つ父親の立場からー子どもから学んだことー
“子どものアレルギーは膳で治す”消化器の摩訶不思議
歯科治療と感染性心内膜炎
ー小児歯科医として必要な知識から最新の研究成果までー
食生活からの母子関係・子供の未来を考える
赤ちゃんの健やかな発達を目指して～新生児期の痛みは将来に影響する～
子どもたちと共に学び・歩み・成長できる歯科衛生士
小児医療の進歩ー現状と今後の課題ー
より安心・安全な小児歯科医療を目指して
妊娠中の歯科治療とくすり
児童精神医学の領域からのポイント
小児がん治療の現状と晩期合併症
小児領域において知っておきたい医療安全管理
ー異物の誤嚥・誤飲を中心にー
障害児（者）および有病児の歯科的アプローチ
自閉症児に効果のあるリラックス法

開催頻度：各支部とも年1回

出席者数：北日本339名

関東912名

中部450名

近畿650名

中四国190名

九州350名

修了証発行：なし

（但し、参加者本人が持参する本学会発行のIDカードで参加を記録）

●一般社団法人日本歯科麻酔学会

【リフレッシャーコース】

◎研修テーマ

[臨床・基礎問わず、資格取得者ならびに取得希望者の知識の習得を目指したテーマ]

第27回

- ・地域で行う摂食支援
- ・医療システムの問題点と対策の考え方
- ・麻酔と脳保護
- ・静脈内鎮静法からの回復過程

第28回

- ・傷害誘導性幹細胞：血管細胞由来の神経幹細胞
- ・全身麻酔に関連した周術期呼吸管理の最新知見
- ・デスフルランの基礎と臨床
- ・歯科口腔外科領域における鎮静薬（NSAIDs）の有効な使い方

—先制鎮静の概念を含めて—

第29回

- ・歯科診療関連死に係る新しい調査制度
- ・臨床研究の方法
- ・薬物動態を意識した静脈麻酔薬投与
- ・虚血性心疾患患者の周術期管理

◎研修頻度

年1回

◎研修の延べ回数

29回

◎研修参加者数

東京開催（約300名）

大阪開催（約250名）対象者は非会員を含む。

◎研修内容

80分講演×4回

◎研修終了後の証明証発行

参加者全員に発行し、有資格者には別途出席証明シールを発行。

【教育講座】

◎研修テーマ

[登録医、認定歯科衛生士ならびに当該資格の取得希望者向けの基礎的なテーマ]

第1回

- ・歯科診療に必要な全身管理の知識

◎研修頻度

年1回

◎研修の延べ回数

1回

◎研修参加者数

学術集會会期中に学術集會のプログラムとして開催しているため、参加者数はカウントしていない。対象者は非会員を含む。

◎研修内容

60分講演

◎研修終了後の証明証発行

登録医ならびに認定歯科衛生士資格者には受講証明書を発行。

【年次総会、学術集會】

◎テーマ

第41回

- ・社会のニーズに応える歯科麻酔学の進歩
- ・歯科麻酔を検証する
- ・歯科治療の安全・安心を目指す

◎内 容

特別講演、教育講演、一般講演（オーラル・ポスター）、ランチョンセミナー、シンポジウム

◎研修頻度

年1回

◎出席者数

| | | |
|----------|-----|---------|
| 第41回（横浜） | 参加者 | 約980名 |
| 第42回（新潟） | 参加者 | 約800名 |
| 第43回（東京） | 参加者 | 約1,150名 |

◎研修修了後の証明証発行

有資格者には別途出席証明シールを発行。また、教育講座受講者で、かつ登録医と認定歯科衛生士資格保有者には受講証明書を発行。

【支部学術集會】

◎本学会には支部組織はありませんが、学会が関連する認定団体として全国に下記の7団体がある。

- 〈北海道〉北海道臨床歯科麻酔学会
- 〈東北〉東日本歯科麻酔学会
- 〈関東〉関東臨床歯科麻酔懇話会
- 〈中部〉中部歯科麻酔研究会

〈関西〉 関西歯科麻酔研究会

〈中国・四国〉 中国・四国歯科麻酔研究会

〈九州〉 九州歯科麻酔シンポジウム

◎テーマ

テーマ内容ならびにテーマ設定の有無については、各団体で決められている。

◎内 容

内容については、特別講演、教育講演、一般講演（オーラル）、ランチョンセミナー、シンポジウム等。

◎研修頻度

年 1 回

◎出席者数

出席者数は把握していない。

◎研修修了後の証明証発行

認定団体への出席は学会認定資格の更新時の単位として認定されるため、学会から各団体に対して有資格者名簿と別途出席証明シールを発送。

特定非営利活動法人日本歯周病学会

研修会等一覧(平成26年度)〔学術大会を除く〕

| 研修会名 | 認定医・専門医教育講演 | 認定医・専門医講演 | 歯科衛生士教育講演 | 歯科衛生士教育講演 | 歯科衛生士教育講演 | 歯科衛生士教育講演 | 歯科衛生士教育講演 | 歯科衛生士教育講演 | 歯科衛生士教育講演 | 臨床研修会 | 臨床研修会 |
|-------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------|--|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|------------------------------|----------------------------|-------------------|---------------------------|
| | 2014/5/24(学術大会会期中) | 2014/10/19(学術大会会期中) | 2014/5/24(学術大会会期中) | 2014/7/27 | 2014/10/5 | 2014/10/19(学術大会会期中) | 2015/2/22(臨床研修会会期中) | 2015/3/1(臨床研修会会期中) | 2015/3/1 | | |
| 開催日時 | 2014/5/24(学術大会会期中) | 2014/10/19(学術大会会期中) | 2014/5/24(学術大会会期中) | 2014/7/27 | 2014/10/5 | 2014/10/19(学術大会会期中) | 2015/2/22(臨床研修会会期中) | 2015/3/1(臨床研修会会期中) | 2015/3/1 | | |
| 場所 | 長良川国際会議場(岐阜) | 神戸国際会議場(兵庫) | 長良川国際会議場(岐阜) | 栃木県歯科医師会館(栃木) | アバンセ(佐賀) | 神戸国際会議場(兵庫) | 北海道歯科医師会館 | 石川県旭川産業振興センター新館コンベンションホール | 石川県旭川産業振興センター新館コンベンションホール | 北海道歯科医師会館 | 石川県旭川産業振興センター新館コンベンションホール |
| 対象者 | 認定医・専門医、認定医・専門医取得希望の会員・非会員 | 認定医・専門医、認定医・専門医取得希望の会員・非会員 | 認定医・専門医、認定医・専門医取得希望の会員・非会員 | 認定歯科衛生士、認定歯科衛生士取得希望の会員・非会員 | 認定歯科衛生士、認定歯科衛生士取得希望の会員・非会員 | 認定歯科衛生士、認定歯科衛生士取得希望の会員・非会員 | 認定歯科衛生士、認定歯科衛生士取得希望の会員・非会員 | 認定歯科衛生士、認定歯科衛生士取得希望の会員・非会員 | 認定歯科衛生士、認定歯科衛生士取得希望の会員・非会員 | 会員・非会員 | 会員・非会員 |
| 研修テーマ | これまでの55年の臨床からこれからの歯周治療を考える | 歯槽骨の再生はどのようなプロセスで起こるか-新付着物を獲得するために | 超高齢社会における歯科衛生士の役割と老年歯周病学の夜明け | 歯周病プロフェッショナルケアの最新動向-ベリタス・コンタクトロールの考えかた | モチベーションをアップさせるためのコミュニケーション | SPTに伴う炎症と力のコントロールについて | 患者さんの健康寿命を支撐する歯周基本治療 | 歯周基本治療をみなおそう! | 歯周基本治療をみなおそう! | 歯周治療で生涯健康ライフをサポート | 歯周基本治療をみなおそう! |
| 研修頻度 | 年2回 | 年2回 | 年6回 | 年6回 | 年6回 | 年6回 | 年6回 | 年6回 | 年6回 | 年2回 | 年2回 |
| 研修の延べ回数 | 通算42回 | 通算43回 | 通算53回 | 通算54回 | 通算55回 | 通算56回 | 通算57回 | 通算58回 | 通算58回 | 通算34回 | 通算35回 |
| 研修会参加者数 | 約1,500名(学術大会のプログラムのため正確な数は不明) | 約1,500名(学術大会のプログラムのため正確な数は不明) | 約800名(学術大会のプログラムのため正確な数は不明) | 183名 | 80名 | 約800名(学術大会のプログラムのため正確な数は不明) | 約50名(臨床研修会のプログラムのため正確な数は不明) | 約100名(臨床研修会のプログラムのため正確な数は不明) | 250名 | 216名 | |
| 研修内容 | 認定医・専門医に必要な知識 | 認定医・専門医に必要な知識 | 認定歯科衛生士に必要な知識 | 認定歯科衛生士に必要な知識 | 認定歯科衛生士に必要な知識 | 認定歯科衛生士に必要な知識 | 認定歯科衛生士に必要な知識 | 認定歯科衛生士に必要な知識 | 認定歯科衛生士に必要な知識 | 歯周病学全般 | 歯周病学全般 |
| 研修終了後の証明書発行 | 終了後、学術大会参加証を受講印を押し | 終了後、学術大会参加証を受講印を押し | 終了後、学術大会参加証を受講印を押し | 参加証を発行、終了後に受講印を押し | 参加証を発行、終了後に受講印を押し | 終了後、学術大会参加証を受講印を押し | 参加証を発行、終了後に受講印を押し | 参加証を発行、終了後に受講印を押し | 参加証を発行、終了後に受講印を押し | 参加証を発行、終了後に受講印を押し | 参加証を発行、終了後に受講印を押し |

特定非営利活動法人日本歯周病学会

学術大会一覧(平成19年度以降)

| 回 | 実施日 | メインテーマ | 会場 | 担当大学 | 出席者数 |
|-------|-----------------|-----------------------------------|---------------------|----------|-------|
| 第50回春 | 平成19年5月18・19日 | 「お口の健康、のぼそう寿命」 | 横須賀芸術劇場 | 神奈川歯科大学 | 1,529 |
| 第50回秋 | 平成19年9月21・22日 | 「歯周病学から国民健康科学への提言」 | 東京国際フォーラム | 東京歯科大学 | 2,672 |
| 第51回春 | 平成20年4月25・26日 | 「歯周病患者の機能回復を考える」 | 大宮ソニックシティ | 明海大学 | 2,032 |
| 第51回秋 | 平成20年10月19日 | 「国民の健康に貢献する歯周治療～歯科界のブレイクスルーを求めて～」 | 四日市市文化会館 | 愛知学院大学 | 1,763 |
| 第52回春 | 平成21年5月15・16日 | 「有病者・高齢者医療の中での歯周病治療の役割」 | 岡山コンベンションセンター | 岡山大学 | 1,857 |
| 第52回秋 | 平成21年10月11日 | 「未来を展望する歯周病治療(どげんかせんといかん歯周病)」 | 宮崎観光ホテル | 九州大学 | 1,557 |
| 第53回春 | 平成22年5月14・15日 | 「歯周病研究フロンティア-輝ける歯周治療を目指して-」 | 盛岡市民文化ホール・アイーナ | 岩手医科大学 | 1,700 |
| 第53回秋 | 平成22年9月19日 | 「ペリオドンタルメディスンの推進」 | サンポートホール高松・かがわ国際会議場 | 徳島大学 | 1,625 |
| 第54回春 | 平成23年5月27・28日 | 「未来へつなげる歯周治療」 | 福岡国際会議場 | 福岡歯科大学 | 2,309 |
| 第54回秋 | 平成23年9月24日 | 「連携医療における歯周病治療」 | 海峡メッセ | 広島大学 | 1,653 |
| 第55回春 | 平成24年5月18・19日 | 「参加者全員で考える歯周病治療-その原点と未来-」 | 札幌コンベンションセンター | 北海道医療大学 | 2,115 |
| 第55回秋 | 平成24年9月23日 | 「歯周治療のリスクマネジメント-その時あなたならどうしますか-」 | つくば国際会議場 | 日本大学 | 2,131 |
| 第56回春 | 平成25年5月31日・6月1日 | 「Gingival marginを見つめなおす」 | タワーホール船堀 | 昭和大学 | 3,110 |
| 第56回秋 | 平成25年9月22日 | 「先進医療と口腔ケア」 | 前橋テルサ・前橋市民文化会館 | 新潟大学 | 2,600 |
| 第57回春 | 平成26年5月23・24日 | 「世界に発信する」 | 長良川国際会議場 | 朝日大学 | 2,112 |
| 第57回秋 | 平成26年10月19日 | 「歯周病学 温故知新」 | 神戸国際会議場 | 東京医科歯科大学 | 3,136 |
| 第58回春 | 平成27年5月15・16日 | 「有病率8割に対する挑戦！」 | 幕張メッセ | 日本歯科大学 | 3,365 |
| 第58回秋 | 平成27年9月12・13日 | 「健康長寿延伸のための歯周病治療(高齢歯周病学の確立に向けて)」 | アクトシティ浜松 | 松本歯科大学 | 2,401 |

NPO法人日本歯科放射線学会

日本歯科放射線学会は専門医，認定医および准認定医の3段階方式の認定をしている。各専門医・認定医向けのセミナー，実技研修は1) 秋の臨床画像大会併設のセミナー（年1回3テーマ：講義のみ），および2) 全国開催での実技研修会（年平均3回：現在25回終了（12月現在）），3) 生涯学習研修会（年平均3回：現在29回終了（12月現在））が主となる。

学会認定セミナー（専門医・認定医向け）

◎研修テーマ

1) 専門医・認定医セミナー

研修テーマ（過去3年間の講義および実技研修）

平成27年度

・10月25日（日）九州大学歯学部にて開催

- 1) 「診断的画質についての知識」
- 2) 「画像検査の進め方」
- 3) 「悪性腫瘍の画像診断」

・1月11日・12日および9月19日・20日（明海大学附属病院にて開催）

顎口腔領域エックス線検査に対する被曝線量測定研修会

平成26年度

・11月15日・16日（明海大学附属病院にて開催）

顎口腔領域エックス線検査に対する被曝線量測定研修会

・11月2日（日）岡山大学鹿田キャンパス Junko Fukutake Hallにて開催

- 1) 線量測定の基本：歯科医師が関わる線量と測定
- 2) 顎口腔領域のMRI読像の基本
- 3) 歯科放射線科で行う摂食・嚥下機能検査

平成25年度

・1月12日・13日（明海大学附属病院にて開催）

顎口腔領域エックス線検査に対する被曝線量測定研修会

◎研修頻度

年2回

◎研修延べ回数10回

◎研修参加者数：614名（平成25年～27年3年間）

◎研修内容：講義および実技

◎研修終了後の証明書発行

参加者全員に理事長名および委員長名にて証明書を発行

2) 実技研修会および生涯学習研修会（講義および実技）

◎研修テーマ

①実技研修会：1) 頭頸部の超音波検査，2) 頭頸部の MRI 診断法

②生涯学習研修会

1) 口腔インプラントの画像診断，2) 歯科用コーンビームの基礎と臨床応用，3) パノラマエックス線写真による画像診断

◎研修頻度

年 5 回

◎研修延べ回数 17 回（平成 25 年～27 年 3 年間）

◎研修参加者数：245 名（平成 25 年～27 年 3 年間）

◎研修内容：講義および実技

生涯学習研修会 GIO, SB0s

GIO：歯科医師として生涯にわたり適切な放射線検査を行うために，各種撮影法の原理，画像の読影，放射線防護および法的規制を継続的に修得する。

「明日から使えるパノラマエックス線写真による画像診断」

GIO：日常歯科臨床にパノラマエックス線検査を用いた画像診断を適切に行うために，パノラマエックス線検査法の原理，特徴，正常解剖を理解し，鑑別診断を含む画像読影，およびパノラマエックス線検査法による被曝の概念を修得する。

SB0s：

- 1) パノラマエックス線検査法の原理を説明できる。
- 2) パノラマエックス線検査法の適応を列挙できる。
- 3) パノラマエックス線検査法を適切に実施できる。
- 4) デジタルパノラマエックス線検査法とフィルム法の違いを述べることができる。
- 5) パノラマエックス線検査法の正常解剖が説明できる
- 6) パノラマエックス線検査法による鑑別診断ができる。
- 7) パノラマエックス線検査法による画像所見が作成できる。
- 8) パノラマエックス線検査法による画像処理が実施できる。
- 9) パノラマエックス線検査法による被曝を説明できる。

「基本から学ぶ歯科用コーンビーム CT の基礎と臨床応用」

GIO: 歯科医療において歯科用コーンビーム CT (CBCT) を用いた画像診断を適切に実施するため，歯・顎顔面領域の正常解剖像を理解し，CBCT とその画像の特徴，最適な CBCT の条件設定による撮像，CBCT 画像による適切な診断と CBCT での被曝の概念を修得する。

SB0s：

- 1) 歯と顎骨の正常解剖を説明できる。

- 2) CBCT 画像の特徴を理解できる。
- 3) CBCT の原理について説明できる。
- 4) CBCT の利点と欠点について説明できる。
- 5) 臨床における CBCT の適応と限界について概説できる。
- 6) CBCT の最適な撮像条件を選択し撮像できる。
- 7) CBCT の撮像時の注意点について言及できる。
- 8) 目的に従い CBCT の画像ソフトを適切に使用できる。
- 9) DICOM データの取扱いができる。
- 1 0) CBCT により撮像された画像を適切に診断できる。
- 1 1) CBCT の画像所見を説明できる。
- 1 2) CBCT による被曝の概念について説明できる。

「基本から学ぶインプラントの画像診断」

GI0：口腔インプラント治療の画像診断や治療計画立案を適切に行うために、インプラント治療に必要な各種画像検査法の原理，特徴を理解し，CT を含む各種画像検査の読像，鑑別診断，インプラント CT シミュレーションおよび CT 被曝の概念を修得する。

SB0s:

- 1) インプラント治療の各種画像検査法を列挙できる。
- 2) インプラント治療の各種画像検査法の利点欠点を説明できる。
- 3) インプラント治療の禁忌症を列挙できる。
- 4) インプラント治療の術式が説明できる
- 5) CT の原理を説明できる。
- 6) CT の利点欠点が説明できる。
- 7) 顎口腔の CT 正常解剖が説明できる。
- 8) 顎口腔の CT 読像ができる。
- 9) CT シミュレーションの原理が説明できる。
- 1 0) インプラント CT シミュレーションが操作できる。
- 1 1) DICOM データの取扱いができる。
- 1 2) CT 被曝の概念を説明できる。

◎研修終了後の証明書発行：参加者全員に理事長名および委員長名にて証明書を発行

実技研修会および生涯学習研修会の過去 3 年間の開催テーマ，会期，会場，各参加者数
（*過去 3 年間のみ：開催回数は通算回数）

平成 27 年

第 20 回 実技研修会

テーマ 頭頸部の MRI 診断法
会 期 平成 25 年 3 月 16 日(日)
会 場 大阪大学歯学部記念会館および歯学部附属病院
参加者 20 名

第 21 回 実技研修会

テーマ 頭頸部の超音波診断法
会 期 平成 25 年 11 月 17 日(日)
会 場 東北大学病院
参加者 34 名

第 22 回 実技研修会

テーマ 頭頸部の MRI 診断法
会 期 平成 26 年 2 月 23 日(日)
会 場 大阪大学歯学部記念会館および歯学部附属病院
参加者 20 名

第 23 回 実技研修会

テーマ 頭頸部の超音波診断法
会 期 平成 26 年 11 月 16 日(日)
会 場 愛知学院大学歯学部附属病院
参加者 42 名

第 24 回 実技研修会

テーマ 頭頸部の MRI 診断法
会 期 平成 27 年 3 月 8 日(日)
会 場 大阪大学歯学部記念会館および歯学部附属病院
参加者 15 名

第 25 回 実技研修会

テーマ 頭頸部の超音波診断法
会 期 平成 27 年 11 月 15 日(日)
会 場 九州歯科大学歯学部および歯学部附属病院
参加者 37 名

第 19 回生涯学習研修会

会 期 平成 25 年 3 月 3 日 (日)
会 場 鶴見大学歯学部
テーマ 基本から学ぶ歯科用コーンビーム CT の基礎と臨床応用
参加者 16 名

第 20 回生涯学習研修会

会 期 平成 25 年 11 月 3 日 (日) (臨床画像大会内)

会 場 東京歯科大学水道橋校舎
テーマ 明日から使えるパノラマエックス線写真による画像診断
参加者 25名

第21回生涯学習研修会

会 期 平成25年12月15日(日)
会 場 日本大学松戸歯学部
テーマ 基本から学ぶインプラントの画像診断
参加者 18名

第22回生涯学習研修会

会 期 平成26年3月2日(日)
会 場 神奈川歯科大学
テーマ 基本から学ぶ歯科用コーンビームCTの基礎と臨床応用
参加者 25名

第23回生涯学習研修会

会 期 平成26年6月6日(金)(総会・学術大会内)
会 場 タワーホール船堀
テーマ 明日から使えるパノラマエックス線写真による画像診断
参加者 37名

第24回生涯学習研修会

会 期 平成26年12月14日(日)
会 場 東京医科歯科大学歯学部
テーマ 明日から使えるパノラマエックス線写真による画像診断
参加者 11名

第25回生涯学習研修会

会 期 平成26年12月21日(日)
会 場 日本大学松戸歯学部
テーマ 基本から学ぶインプラントの画像診断
参加者 23名

第26回生涯学習研修会

会 期 平成27年1月25日(日)
会 場 昭和大学歯科病院
テーマ 基本から学ぶ歯科用コーンビームCTの基礎と臨床応用
参加者 20名

第27回生涯学習研修会

会 期 平成27年6月7日(日)
会 場 仙台市戦災復興記念館

テーマ 明日から使えるパノラマエックス線写真による画像診断

参加者 24名

第28回生涯学習研修会

会期 平成27年10月25日(日)

会場 九州大学歯学部本館および附属病院

テーマ 基本から学ぶ歯科用コーンビームCTの基礎と臨床応用

参加者 15名

第29回生涯学習研修会

会期 平成27年11月22日(日)

会場 日本大学松戸歯学部

テーマ 基本から学ぶインプラントの画像診断

参加者 16名

総会および学術大会

◎テーマ

第54回総会学術大会

会場 福岡県立ももち文化センター(福岡市)

会期 平成25年5月31日～6月2日

会長 湯浅 賢治 福岡歯大・歯

テーマ 10年先に花を咲かせよう!

参加者 202名

第55回総会学術大会

会場 タワーホール船堀(東京都)

会期 平成26年6月6～8日

会長 金田 隆 日大松戸・歯

テーマ 画像診断、口腔から全身へ、全身から口腔へ、日本から世界へ!

参加者 309名

第56回総会学術大会

会場 仙台市戦災復興記念館(仙台市)

会期 平成27年6月5～7日

会長 笹野 高嗣 東北大・歯

テーマ 日本再生戦略としての革新的医薬品・医療機器の開発
—歯科放射線学会からの発信—

参加者 233名

第18回 臨床画像大会

会 場 東京歯科大学水道橋校舎（東京都）
会 期 平成 25 年 11 月 1～3 日
会 長 佐野 司 昭和大・歯
テーマ パートナーとして歯科放射線に要望すること
参加者 205 名

第 19 回 臨床画像大会

会 場 岡山大学鹿田キャンパス Junko Fukutake Hall（岡山市）
会 期 平成 26 年 10 月 31 日～11 月 2 日
会 長 浅海 淳一 岡山大・歯
テーマ なし
参加者 148 名

第 20 回 臨床画像大会

会 場 九州大学大学院歯学研究院（福岡市）
会 期 平成 27 年 10 月 23～25 日
会 長 吉浦 一紀 九州大・歯
テーマ 画像診断のポイントについて考える
参加者 153 名

◎内容 特別講演，教育講演，一般講演（オーラル，ポスター），ランチョンセミナー，シンポジウムを毎回開催

◎研修頻度

年 2 回

◎出席者数

平成 27 年 386 人

平成 26 年 457 人

平成 25 年 407 人

◎研修終了後の証明書発行：参加者全員に大会長名および理事長名にて証明書を発行

NPO 法人日本歯科放射線学会地方会

（年 3 回：北日本・関東地方会 2 回，関西・九州地方会 1 回）

第 221 回関東地方会・第 35 回北日本地方会・第 23 回合同地方会

会期：2015 年 7 月 18 日（土）

会場：日本歯科大学生命歯学部「九段ホール」

担当：日本歯科大学生命歯学部歯科放射線学講座

参加者：155 名

第 220 回関東地方会

会期：2015 年 1 月 24 日（土）

会場：日本大学 歯学部 2 号館 1F 研修医講堂

担当：日本大学歯学部歯科放射線学講座

参加者：145 名

第 219 回関東地方会・第 34 回北日本地方会 ・第 22 回合同地方会

会期：2014 年 7 月 12 日(土)

会場：松本歯科大学

担当：松本歯科大学 歯科放射線学講座

参加者：150 名

第 218 回関東地方会

会期：2014 年 1 月 25 日(土)

会場：東京医科歯科大学

担当：東京医科歯科大学口腔放射線医学分野

参加者：145 名

第 217 回関東地方会

会期：2013 年 7 月 6 日(土)

会場：新潟大学脳研究所 統合脳機能研究センター 6F セミナーホール

担当：新潟大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面放射線学分野

参加者：140 名

第 216 回関東地方会

会期：2013 年 1 月 19 日(土)

会場：大宮ソニックシティビル

担当：明海大学歯学部歯科放射線学分野

参加者：145 名

第 215 回関東地方会・第 32 回北日本地方会 第 20 回合同地方会

会期：2012 年 7 月 7 日 (土)

会場：日本大学松戸歯学部旧病院棟 2 階 MD ホール

担当：日本大学松戸歯学部放射線学講座

参加者：155 名

第 214 回関東地方会

会期：2012 年 1 月 21 日 (土)

会場：昭和大学旗の台キャンパス 4 号館 600 号

担当：昭和大学歯学部歯科放射線医学教室

参加者：145 名

第 35 回関西・九州合同地方会 (第 58 回関西・第 54 回九州地方会)

会期：2015 年 12 月 12 日(土)

会場：大阪大学中之島センター会議室

担当：大阪大学・大学院・歯科放射線学教室

参加者：150名

第34回関西・九州合同地方会（第57回関西・第53回九州地方会）

会期：2014年12月6日（土）

会場：長崎ブリックホール3階国際会議場

担当：長崎大学・大学院・頭頸部放射線学分野

参加者：145名

第33回関西・九州合同地方会（第56回関西・第52回九州地方会）

日時：2013年12月14日（土）

会場：じゅうろくプラザ5階 会議室

担当：朝日大学歯学部口腔病態医療学講座歯科放射線学分野

参加者：145名

◎研修終了後の証明書発行：参加者全員に大会長名および理事長名にて証明書を発行